

文字より写真に視線がいてしまう子

以前、こんな子がいました。とてもまじめな子ですが、集中する時間が短く、すぐに他事をしてしまう子でした。

ある日、国語の時間に、マル（。）読みをしていた時です。マル読みとは、教科書の一文ずつ、順番に読んでいく方法です。まじめなその子は、みんなと一緒に教科書の読んでいるところを目で追っていました。本読みが進んでいくと、教科書に写真が出ていました。そうすると、その写真に目が留まり、次のページになってもページをめくることができませんでした。しばらくして次のページになっていることに気づき、みんながどこを読んでいるのかを必死で探し、何とかみんなが読んでいる場所を見つけることができました。こんなことではいけない、自分の順番になったら読む場所が分からなくなるといけないと思い、この子は、指を使って、教科書の文字をたどるようにしました。しかし、また教科書に載っている写真に目が留まり、指も止まり、また、みんなが次のページになっても、ページをめくることができませんでした。しばらくしてどこを読んでいるか分からなくなっていることに気づき、必死にどこを読んでいるのかを探しました。でも、なかなか分からず、すごく焦っていました。隣の子の教科書を覗き込んで、どこのページかは分かりましたが、どこの場所か分かりませんでした。その時、次のページにかわり、ようやく読む場所を見つけることができました。その後、読む場所を左右の指2本でたどり、無事、自分の順番になった時に、本読みをすることができました。

この子は、本読みを始める前の先生の話の聞いているときにも、視線が動いていました。授業が始まると、先生の顔を見て話を聞いていたのですが、途中で廊下側の上方へ視線が移り、留まりました。何をみているかと視線の先を見ると、図画工作で書いた絵が、教室の前の廊下側のところまで貼ってありました。その掲示物に目が留まってしまったのです。しばらくそこに目が留まって、また先生の方を注目するようになりました。このことから、教室の前面はなるべくすっきりと整理して、余分な掲示物もなくすようにしなければいけないということになりました。

本読みの場合、どのようにしたらよいのでしょうか。例えば、厚紙に縦に穴をあけて、1行だけ文字が見えるようにする、デジタル教科書みたいな、挿絵や写真のない文字だけの教材文を準備してあげる等の方法があります。人それぞれ、特徴がありますので、頭ごなしに、何で本読みのところを見ていないんやと叱るのではなく、なぜ見失ってしまうのかを考えてあげるようにしたいですね。